

スポーツを通じた 地域の活性化



<現状と課題>

●スポーツ合宿・大会誘致について

スポーツ合宿・大会誘致の一元的窓口として平成28年3月に設置した「長崎県スポーツコミッション」を中心に合宿誘致に取り組んでおり、そこで蓄積した競技毎の受入ノウハウや構築した人脈、合宿補助金制度を活かした活動等により、合宿誘致件数等は増加傾向にあります。

■スポーツ合宿参加数

	H28	H29	H30	R1	R2 目標
件数	207	233	252	302	—
人数	4,939	4,749	5,910	5,885	6,392

■スポーツコンベンション参加者数（九州大会以上）

	H28	H29	H30	R1	R2 目標
件数	177	252	219	208	—
人数	140,761	142,389	146,293	124,566	155,000

今後は、さらに誘致件数を増加させていくために、過去の参加者や県外チームからの意見に基づく受入環境の整備を図るとともに、参加者の口コミやSNS等を活用した積極的な情報発信により、新規合宿・大会の誘致に向けて取り組んでいく必要があります。

●海外チームキャンプ誘致について

市や長崎県スポーツコミッションと連携して東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ誘致に取り組んできた結果、平成29年以降、海外ナショナルチームによるトレーニングキャンプが実施され、さらには、ラグビーワールドカップ2019™においては2カ国のキャンプ誘致にも成功したことから、海外チームの受入れに関するノウハウや人脈が構築されてきています。

【海外ナショナルチームキャンプ受入実績】

■トレーニングキャンプ

年度	国名	競技名	受入自治体
H29	ベトナム	フェンシング	諫早市
H30	ベトナム	空手、柔道	長崎市
	ポルトガル	競泳	長崎市
R1	ベトナム	空手、競泳、柔道	長崎市
		陸上競技	諫早市
	ラオス	競泳	長崎市
	ポルトガル	トライアスロン	大村市
	スペイン	レスリング	島原市

■ラグビーワールドカップ2019™ 事前・公認キャンプ

年度	国名	受入自治体
R1	スコットランド	長崎市
	トンガ	島原市



写真提供 / V・ファーレン長崎

東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ 2019™ 開催を契機とした海外ナショナルチームのキャンプ受入れを通じて、本県と相手国との信頼関係の構築や、国内外への合宿地としてのPR効果もたらされました。さらに、こうした海外チームによるキャンプ実施を一過性のもので終わらせることなく、大会後も長崎県での海外ナショナルチームによるキャンプ実施を定着化させるなど、スポーツによる地域ブランド化をさらに推進していく必要があります。

●長崎県スポーツコミッションについて

スポーツコミッションが、これまでの実績を踏まえて、将来に渡って求められる役割を担うには、持続可能な組織体制の構築や戦略構築、ノウハウの継承といった運営面の強化を推進していく必要があります。

●プロスポーツクラブについて

本県唯一のプロサッカークラブであるV・ファーレン長崎について、観客数は年々増加傾向にありますが、更なる交流人口の拡大による地域の活性化につなげるためには、県外から訪れるアウェイ客の誘致が必要となります。

また、令和3年のBリーグ参入を目指して創設されたプロバスケットボールクラブ長崎ヴェルカについて、県民に親しまれるクラブとなるよう、知名度向上や県民の関心を高めるための情報発信を行うとともに、V・ファーレン長崎と同様にクラブと各自自治体と一緒に地域の課題解決を図るための連携体制を構築していく必要があります。

長崎市の中心部において進められている長崎スタジアムシティプロジェクトについて、施設の有効活用など事業者と連携し、地域の活性化につなげていく必要があります。

●新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スポーツ合宿や海外チームキャンプの誘致を例年通り行うことはできず、プロスポーツも中止や無観客試合が続きました。

これからのウィズコロナ時代においては、スポーツ合宿や大会の誘致に取り組むにあたり、新しい生活様式に対応した受入体制を整備する必要があります。

施策の 方向

地域の様々な資源を活かしたスポーツツーリズムの推進や障害者スポーツを含む国内外のスポーツ合宿・大会誘致による交流人口の拡大など、それぞれの地域でスポーツの力による地域のにぎわいづくりを推進します。

1. スポーツツーリズムによる 地域の活性化

(1) 地域が主体となったスポーツ合宿・大会の誘致促進

●受入体制の整備

長崎県スポーツコミッションと県内自治体、競技団体等が連携し、スポーツ合宿・大会における企画・運営担当者や対応スタッフの育成を行うなど、選手が快適に過ごせるような受入体制の整備を推進します。

また、長崎県スポーツコミッションでは「スポーツ合宿・大会に向けた新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定し、受入に係る指針を示しました。今後は市町、競技団体、宿泊施設等と協議を行いながら、スポーツ団体が求める感染症対策を講じ、安全安心かつ持続的な合宿等の受入を推進します。

●リピーターの確保

合宿参加者の満足度を向上させリピーターとしての定着を図るため、県内自治体や長崎県スポーツコミッション、競技団体、宿泊施設等との連携により、これまでの受入ノウハウを活用した受入体制を構築します。

●長崎県スポーツコミッションの体制強化

持続可能な組織体制を構築するため、ノウハウを組織内に蓄積させていくとともに、中央団体や競技団体からの情報を積極的に入手し市町と共有することで、各地域の実情に応じた戦略構築をこれまで以上に図ります。



(2) 海外チームキャンプ誘致の推進

●国際大会事前キャンプ等の誘致

これまでの誘致活動で築いた各国の政府、オリンピック委員会、競技団体等とのコネクションを活用し、国内及び近隣諸国で開催される国際大会に向けた事前キャンプなどの誘致にさらに積極的に取り組みます。

●リピーターの確保

キャンプ参加者の満足度を向上させリピーターとしての定着を図るため、これまでの海外チームキャンプ受入れの経験並びに県内自治体や長崎県スポーツコミッション、競技団体、宿泊施設等との連携により構築するスポーツキャンプ実施に関する受入ノウハウを活用したキャンプの受入を行います。

●武道ツーリズムの推進

日本の伝統的な武道である空手、柔道、剣道などは、海外で高い人気を誇っていることから、武道を見たり、体験したりすることを目的とした訪日観光客の獲得に向けて、海外ナショナルチーム等によるキャンプ誘致やホストタウン※相手国等との情報交換を進めていくとともに、武道を使った体験プログラムを創出するなど、武道ツーリズムを目的とした訪日観光客の受入体制づくりに取り組みます。

(3) スポーツを通じた国際交流の推進や本県の情報発信

●スポーツ交流の実施

海外チームキャンプの実施においては、青少年等に夢や希望を与えると同時に競技力向上の機会の提供として、海外チーム選手と県内競技者が一緒にトレーニングを行うなどのスポーツ交流を積極的に実施します。

●メディア等招へいによる情報発信

キャンプ実施国のメディア等を招へいし、本県の優れた施設環境や観光地としての魅力などについて情報発信を行います。

※ホストタウン

東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体。

数値 目標

スポーツ合宿参加者数

令和元年度
5,885人

令和7年度

7,777人

スポーツコンベンション参加者数
(九州大会以上)

令和元年度
12.1万人

令和7年度

18.0万人

(4) サイクルツーリズム等のスポーツツーリズムによる観光振興と地域活性化

●サイクルツーリズムの推進

イベントやセミナーの開催を通して地域住民の意識啓発及び機運向上を図り、誘客のための積極的な情報発信を行うとともに、サイクルツーリズムを推進している地域において、走行環境及び受入環境の整備に取り組みます。

特に島原半島では、安全・快適なルート設定や走行環境整備をはじめ、サイクリスト用の宿泊やサポート環境の整備など、多くの課題の克服に地元3市や観光関係者、民間企業、地域の方々と連携して取り組み、地域全体の機運を醸成しながら、将来的にはナショナルサイクルルートの指定を目指します。

●ボート公認コースの認定取得

ボートの練習環境として全国的に高い評価を得ている諫早市の本明川ボート練習場について、今後はボートのみならずカヌーやSUPなどの水上スポーツの拠点となるべく、諫早市、県ボート協会と連携して合宿誘致を行いつつ、全国規模の大会開催に必要となる、日本ボート協会公認コースの認定取得を目指します。

●アーバンスポーツの可能性検討

東京オリンピック競技大会において、スケートボードやBMX等が正式種目として採用されるなど、若者の支持を集めているアーバンスポーツへの注目度が今後大きく高まっていくことが予想されます。アーバンスポーツの普及によって、スポーツを楽しむ機会の充実や若者文化の発信による地域活性化が見込まれることから、国内外の動向を注視しつつ、その可能性について検討していきます。



2. プロスポーツクラブを活用した地域の活性化

(1) クラブを活用した地域のにぎわいづくり創出

●県民がスポーツに触れ合う機会の充実

本県のプロスポーツクラブの活躍は県民に大きな夢や感動を与え、県民の一体感や郷土愛を育むことから、「V・ファーレン長崎」と新たに創設されたプロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」に対する県民の関心を高め、より多くの県民に応援してもらえるよう、イベントの開催や情報発信等を行うとともに、クラブと連携して県民がスポーツに触れ合う機会の充実に努めます。

●自治体の連携体制の構築

クラブの発信力を活かして、地域の課題解決を図るため、クラブと自治体が連携する体制を構築します。

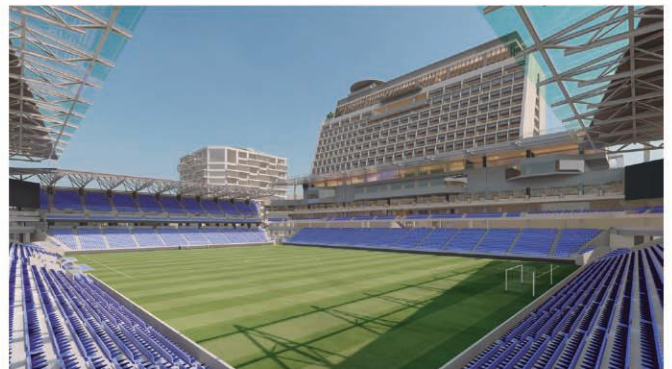
●県外から訪れるアウェイ客の誘致

スポーツ観戦をきっかけとしたアウェイツーリズムを通じて交流人口の拡大を図るため、県外から訪れるアウェイ客の誘致活動を行います。

(2) 長崎スタジアムシティプロジェクトとの連携

長崎スタジアムシティプロジェクトと連携し、スタジアムやアリーナを活用した各種スポーツイベント等の誘致に対する協力を行い、地域の活性化につなげていきます。

また、スタジアム建設や九州新幹線西九州ルート開業を機に多くの県内外の人が県内各地を回遊するなどのにぎわいづくりの創出に向け、民間及び関係自治体が一緒になって進めます。



※構想段階のため、今後デザイン含め変更の可能性があります。
提供/ジャパネットホールディングス